

## 『 損 害 保 険 基 礎 講 座 』

(財) 損害保険事業総合研究所

保険法の成立・保険業法の改正による少額短期保険事業者の登場、保険商品・保険料率の多様化の進展、コストの圧縮やコンプライアンスの要請強化など、保険を取り巻く環境は大きく変化しており、損害保険会社の社員にとって、応用力を備えた基礎的実務知識の習得による的確・迅速な業務処理が不可欠になっております。

しかし、そのための体系的知識の理解・習得は必ずしも容易ではありません。そこで、この講座では、最近のマーケットの変化や保険制度改革をふまえて、「損害保険実務者のための入門講座」として損害保険の基礎実務、主要商品の内容や引受の仕方について解説し、課題に取り組むことで、業務処理能力の一層の向上を目指します。

また、1996年10月に子会社方式による生損保の相互乗り入れがスタートしたことに伴い、この講座では損保社員向けの「生命保険」編を設けており、受講者の希望により任意で受講できるようにしております。

営業・業務部門に在籍する社員の方々をはじめとして、全部門社員の必須講座として受講されることをお勧めいたします。

この講座の概要は、次のとおりです。

## 1. 受講形態

次の3つの受講形態があります。

- ①A講座 「損害保険編」 + 「生命保険編」
- ②B講座 「損害保険編」
- ③C講座 「生命保険編」

## 2. 開講時期（毎月1日開講）

原則として毎月15日までのお申込受付分について翌月1日に開講いたします。

## 3. テキストの構成（テキストの主要内容については、後掲ご参照下さい。）

損害保険編 3冊、生命保険編 1冊、計4分冊とします。

損害保険編	}	第1分冊 「損害保険の基礎知識」
		第2分冊 「損害保険の主な商品」
		第3分冊 「損害保険業務の実際」
生命保険編	別	冊 「生命保険の実務知識」

#### 4. 研修方法

##### (1) テキストおよび添削課題の送付

原則として毎月 1 日に、受講お申し込みの時点で指定された宛先（研修担当者または受講者本人）へ送付します。

##### (2) 添削レポートの提出

受講者は添削課題の送付を受けた月の翌月の 1 日までに、レポートを研修担当者殿を通じて、または直接「(株) ワールド・ヒューマン・リソース」宛に提出していただきます。

##### (3) 提出課題の採点および返却

受理したレポートを添削・採点し、提出期限から約 1 ヶ月後に模範解答を添付し返却します。

#### 〈スケジュール例〉

##### (6 月開講コース)

A 講座：「損害保険編」＋「生命保険編」

区分	教材送付日	添削課題締切日	添削課題返却日
第 1 分冊	6 月 1 日	7 月 1 日	8 月 1 日
第 2 分冊	7 月 1 日	8 月 1 日	9 月 1 日
第 3 分冊	8 月 1 日	9 月 1 日	10 月 1 日
第 4 分冊	9 月 1 日	10 月 1 日	11 月 1 日

B 講座：「損害保険編」のみ

区分	教材送付日	添削課題締切日	添削課題返却日
第 1 分冊	6 月 1 日	7 月 1 日	8 月 1 日
第 2 分冊	7 月 1 日	8 月 1 日	9 月 1 日
第 3 分冊	8 月 1 日	9 月 1 日	10 月 1 日

C 講座：「生命保険編」のみ

区分	教材送付日	添削課題締切日	添削課題返却日
生保編テキスト	6 月 1 日	7 月 1 日	8 月 1 日

※上記スケジュールは、参考として 6 月開講の場合を掲載したものです。毎月開講

いたしますが、6 月以外の開講コースのスケジュールも上記に準じて設定されます。

(教材および課題の制作・発送、レポートの採点・返却、受講料の請求・受領などは、当研究所が事務を委託した「(株) ワールド・ヒューマン・リソース」が行います。)

## 5. 修了者および優秀者の認定

A講座・B講座・C講座それぞれにつき、以下の基準を満たした方を修了者あるいは優秀者と認定します。

	修了者基準	優秀者基準
A講座	全課題を提出期限内に提出 合計 240 点 (400 点満点) 以上	全課題を提出期限内に提出 合計 380 点 (400 点満点) 以上
B講座	全課題を提出期限内に提出 合計 180 点 (300 点満点) 以上	全課題を提出期限内に提出 合計 285 点 (300 点満点) 以上
C講座	全課題を提出期限内に提出 合計 60 点 (100 点満点) 以上	全課題を提出期限内に提出 合計 95 点 (100 点満点) 以上

## 6. 受講料

3講座それぞれにつき以下のとおりです。

- ①A講座：「損害保険編」＋「生命保険編」  
(テキスト4冊・レポート4回)  
1名につき26,000円(消費税込)
- ②B講座：「損害保険編」のみ  
(テキスト3冊・レポート3回)  
1名につき18,000円(消費税込)
- ③C講座：「生命保険編」のみ  
(テキスト1冊・レポート1回)  
1名につき9,500円(消費税込)

## 7. 受講申込方法

- (1) 損害保険会社の社員の方……別紙「受講申込書(A講座・B講座・C講座各別)」に所要事項を記入のうえ、貴社研修担当窓口へお申し込み下さい。受講開始後、事務委託先の(株)ワールド・ヒューマン・リソースより、会社宛に受講料を一括ご請求いたします。
- (2) 上記以外の方(損害保険代理店等)……別紙「受講申込書(個人用)」に所要事項を記入していただき郵便局から受講料を払い込み、郵便振替払込票兼受領証のコピーを貼付のうえ、当研究所宛お申し込み下さい。

## 8. 申込締切日

貴社研修担当部署から指定された社内締切日までにお申し込み下さい。

※ご参考までに、当研究所の締切日はご希望開講月の前月15日です。

## 『損害保険基礎講座』テキストの構成

本講座のテキストの構成は、次のとおりです。

### 第1分冊 損害保険の基礎知識

- 1 損害保険の歴史と役割
- 2 損害保険の仕組み(少額短期保険を含む)
- 3 家計・企業のリスクと損害保険
- 4 損害保険事業運営の基本ルール
- 5 損害保険料率・保険料の仕組みと適用
- 6 損害保険の募集制度
- 7 損害保険のマーケットと販売戦略
- 8 損害調査
- 9 損害保険会計
- 10 資産運用

### 第2分冊 損害保険の主な商品

- 1 火災保険
- 2 自動車保険
- 3 自賠責保険
- 4 傷害保険
- 5 介護費用保険
- 6 賠償責任保険
- 7 その他新種保険
- 8 積立保険
- 9 年金払積立傷害保険
- 10 海上保険

### 第3分冊 損害保険業務の実際

- 1 損害保険の基礎および周辺にある法律
- 2 損害保険契約の法的特徴
- 3 損害保険業界の現況
- 4 損害保険とアンダーライティング
- 5 危険の分散と再保険
- 6 損害保険と税金
- 7 損害保険の事務処理

- 8 損害保険諸団体と業務のかかわり
- 9 少額短期保険業の導入とその特徴

#### 別冊 生命保険の実務知識

- 1 生命保険の現状と仕組み
- 2 生命保険の主な商品
- 3 個人の生活設計と生命保険プランニング
- 4 企業市場と商品設計のポイント
- 5 生命保険販売に関わる実務
- 6 生命保険の契約実務
- 7 生命保険の税務
- 8 少額短期保険業の導入と生命保険

以 上